



報道関係者各位
プレスリリース





「SDGs 事業認定」を取得いたしました




「総合防災・減災企業」を目指す日本BCP株式会社（本社：東京都千代田区、本部：大阪府堺市中区）は、このたび一般社団法人日本SDGs協会（本部：大阪府大阪市中央区）より「SDGs 事業認定」を取得いたしました。

「SDGs 事業認定」とは、企業・団体が現在行っている事業やこれから取り組む事業に対して、その事業内容がSDGsが掲げる17あるゴールのどの目標に適合しているかを大学教授、弁理士、その他有識者からなる審査員が審査し、民間の第三者機関である一般社団法人日本SDGs協会が定める独自の認定制度です。

弊社は、灯油の巡回販売を行うシューワ株式会社のグループ会社で、「総合防災・減災企業」をスローガンに、東日本大震災における岩手県での支援活動の経験をもとに、社会的重要なインフラを担う企業・団体に向けた非常用発電機用の石油の備蓄と配送事業を開始。現在、放送局・通信会社・病院等を中心に80を超える企業・団体と非常用石油燃料の保管・配送契約を締結しています。

今回認定を受けた事業とSDGsの目標は次のとおり。

	認定を受けた事業	内容	SDGsの目標
1	非常用石油燃料の保管・配送事業	緊急災害時における石油保管および非常用車両の手配など緊急事態発生時に企業の損害を最小限に抑え事業の継続や復旧を図るための計画及び実行により、重要なインフラを担う国土強靱化に寄与する企業として社会に貢献する。	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう  11 住み続けられるまちづくりを
2	非常用発電機の負荷試験事業 太陽光パネル洗浄作業のあっせん事業	災害等を契機として発生する大規模停電に対する電源確保のための「非常用発電機」が有事の際に正常に作動かつ実際に発電可能であることを確認する点検事業を通じて、被害の最小化及び早期復旧に貢献する。また、平素より再生可能なエネルギーの発電効率を高めるメンテナンスを行い、再生可能エネルギーの備蓄及び脱炭素社会の推進に寄与する。	 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  11 住み続けられる まちづくりを

	認定を受けた事業	内容	SDGs の目標
3	災害時の水供給事業	災害時における給水を行うため、確保している取水地から受水槽への「運搬給水」を行う。また、富士山の天然水を普及する事業において、非常時には「災害用飲料水」として供給し、人々の命をつなぐミッションを果たす。	 
4	感染症対策事業	感染症（COVID 19、新型インフルエンザなど）の予防対策に必要な「マスク」・「アルコール除菌液」の普及や「空間除菌」作業のスピーディーな対応で、企業経営のリスクヘッジに寄与する。	

今回の事業認定を契機として、すべての社員がSDGsを「自分ごと」として意識し、日常生活及び業務活動を通じて、「持続可能な開発目標」に近づくことができるよう努めて参ります。

【問合せ先】 担当課：営業推進課 担当者：西川、野田

電話：072-230-5888（代表） 電子メール：bcp@jp-bcp.co.jp